

株式会社 定豊

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年7月1日～2024年6月30日)



+

発行日：2024年8月10日
発行責任者：山形 定三



1 取組対象組織・活動

事業者名及び代表者名

株式会社 定豊

代表取締役 山形 定三

所在地

本社 〒521 - 0091 滋賀県米原市岩脇501番地の1

事業活動の内容（認証・登録範囲）

土木工事業・舗装工事業・解体工事業

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先（電話番号等）

環境管理責任者：山形 定三

連絡先： 0749-52-6337

連絡担当者：片山 明美

連絡先： 0749-52-6337

jyourai-katavama@sirius.ocn.ne.jp

事業年度

当社の事業年度は毎年7月1日から翌年6月30日です。

事業の規模

	2021年	2022年	2023年
売上高（百万円）	203	171	215
工事件数（件数）	33	18	8
二酸化炭素排出量（kg-CO2）	64,862	75,834	87,293
二酸化炭素排出量/百万円原単位	319.5	443.5	406.0
廃棄物排出量（t）	691.0	221.0	2,002.7
水使用量（m ³ ）	185	153	150

電力の二酸化炭素排出係数は0.351kg-CO2/kWh（関西電力
2020年度調整後排出係数）を2022年から2024年の3ヶ年間固定
します。

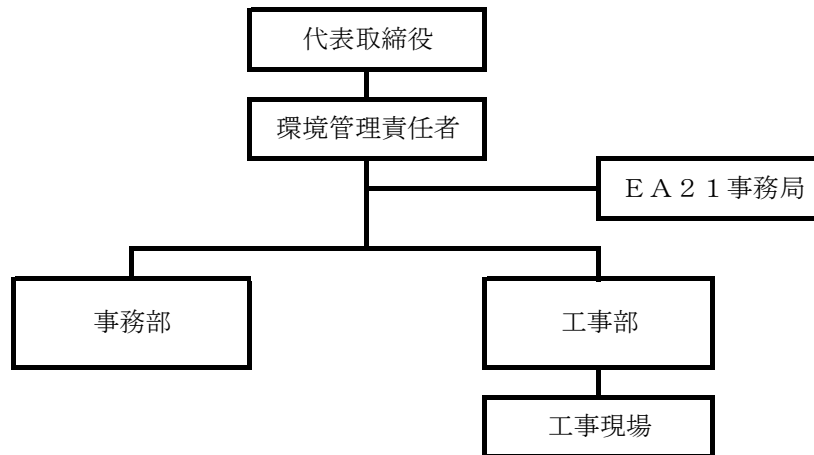
事業組織

	単位	2021年	2022年	2023年
事務所床面積	m ²	56	56	56
倉庫床面積	m ²	91	91	91
資機材置場面積	m ²	8,050	8,050	8,050
従業員	名	9	9	9

倉庫、資機材置場は、㈱山豊と共有使用しています。

EA2 1 実施体制組織図

作成日： 2023年7月1日



役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
	②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。)
	③環境管理責任者を任命する。
	④環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。
	⑤代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する。
	⑥環境経営レポートを承認・許可する。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
	②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。
	③法規制等の遵守状況をチェックする。
	④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。
	⑤環境活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。
	⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。
	⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。
	⑧EA2 1に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とEA2 1事務局への達成状況の報告。
	②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA2 1 事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。
	②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。
	③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。
	④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。
	⑤文書及び記録の管理保管。
	⑥外部コミュニケーションの窓口。
	⑦内部コミュニケーションの運営管理。
	⑧従業員に対する教育訓練の実施。
	⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。
	⑩環境経営レポートを作成する。
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

株式会社 定 豊

環境経営方針

環境理念

当グループは、地球規模での環境保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、事業活動において、環境に配慮した循環型社会の構築に貢献します。

行動指針

当グループは、滋賀県全域を中心とした土木工事、舗装工事、解体工事の事業を行っています。この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、従業員と協力し、EA21環境経営システムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は、次の環境活動を計画的に取り組み実施します。
 - ☆ 事務所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO₂の排出量を削減します。
 - ☆ 事務所及び建設現場の廃棄物に関して、分別を積極的に実施することにより最終処分量を削減するとともに、建設リサイクルを推進します。
 - ☆ 建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。
 - ☆ 環境に配慮した施工を推進します。
 - ☆ 環境活動の社会貢献を推進します。
3. この環境経営方針は全従業員に周知、徹底します。

制定：2010年10月1日
改訂：2020年 7月1日

代表取締役 **山形 定三**

3 環境経営目標とその実績（株式会社定豊）

エコアクション21は、2011年9月から取組みしています。2021年度の実績を基準値として、2022年度から2024年度までの目標を下記の通り設定し、環境活動に取り組んでいます。尚、このレポートでは、2023年7月1日から2024年6月30日までの運用実績について取りまとめました。

中長期							中長期
環境経営方針	取組項目	年度 単位	2021年	取組年 2023年度(7月～6月)		2024年度	2025年度
			(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
事務所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO ₂ の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (単位：kWh)	目標・基準年度比達成率	100%	98%	96.7%	97%	97%
		使用量	4,735	4,640	4,578	4,593	4,593
		(kg-CO ₂)	1,662	1,629	1,607	1,612	1,612
		売上高原単位	8.2	8.0	7.5	7.9	7.9
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年度比達成率	100%	98%	164.5%	97%	97%
		使用量	1,249	1,224	2,055	1,211	1,211
		(kg-CO ₂)	2,897	2,839	4,767	2,810	2,810
		売上高原単位	14.3	14.0	22.2	13.8	13.8
	軽油使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年度比達成率	100%	98%	131.1%	98%	97%
		使用量	22,087	21,645	28,954	21,645	21,424
		(kg-CO ₂)	56,983	55,844	74,702	55,844	55,274
		建設現場	売上高原単位	281	275	347.5	275
	灯油使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年度比達成率	100%	98%	196.2%	97%	97%
		使用量	1,273	1,248	2,497	1,235	1,235
		(kg-CO ₂)	3,170	3,106	6,218	3,075	3,075
		建設現場	売上高原単位	15.6	15.3	28.9	15
	二酸化炭素排出量の削減	目標・基準年度比達成率	100%	98%	134.9%	97%	97%
		(kg-CO ₂)	64,712	63,418	87,293	63,341	62,771
		売上高原単位	319	312	406.0	309	309
		二酸化炭素排出量/百万円原単位	目標・基準年度比達成率	100%	97%	127.4%	96%
売上高原単位	318.8	309.2	406.0	306	306		
事務所及び建設現場の廃棄物に関して、分別を積極的に実施することにより最終処分量を削減するとともに、建設リサイクルを推進します。	建設廃棄物のリサイクル率を向上する (単位：%)	目標・取組年度比達成率	—	—	117%	—	—
		目標 (単位：%)	80%	85%	99.6%	85%	85%
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 (単位：m ³)	目標・基準年度比達成率	100%	98%	81.1%	97%	97%
		m ³	185.0	181.3	150	179.45	179.45
	沈砂池等の設置と適正管理 建設現場	目標・取組年度比達成率	—	—	100%	—	—
		%	100%	100%	100%	100%	100%
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮型機械の使用 建設現場	目標・取組年度比達成率	—	—	100%	—	—
		%	100%	100%	100%	100%	100%
環境活動の社会貢献を推進します。	淡海エコフオスター活動に参加する。	目標・取組年度比達成率	—	—	200%	—	—
		回	6	6	12	6	6

目標の説明や補足事項など

- 購入電力の排出係数は、0.351kg-CO₂/kwh（2020年度関西電力調整後排出係数）を、2022年から2024年の3年間固定します。
- 廃棄物排出量は、建設現場からの廃棄物に対しての総排出量を把握して、建設リサイクルに努めます。
- 水使用量については、事務所、作業所における水使用量の削減について実施する。また建設現場では、濁水監視を実施します。
- LPG使用量は、0の目標に掲げません。また化学物質の取り扱い及び使用はありません。
- 上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取り組めます。
- 売上高原単位では基準年（kg-CO₂/203百万円）、取組年（kg-CO₂/215百万円）を使用しました。（修正済です）
- 2025年の目標は、仮目標です。

4 環境経営計画 (株式会社定豊)

環境経営方針	取組項目	目標達成手段の内容	責任部門・担当者
事務所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO ₂ の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (単位: kWh)	① 不用時の消灯 ② 機械設備・OA機器などのスイッチオフ ③ エアコンの温度管理 (夏季28℃±1℃)	事務部
	ガソリン使用量の削減 (単位: L)	① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認 ② 暖機運転・アイドリングストップ ③ エコドライブ ④ 環境に配慮した稼働	工事部
	軽油使用量の削減 (単位: L) 建設現場 灯油使用量の削減 (単位: L) 建設現場	③ ストープの温度管理 (冬季20℃±1℃)	
事務所及び建設現場の廃棄物に関して、分別を積極的に実施することにより最終処分量を削減するとともに、建設リサイクルを推進します。	建設廃棄物のリサイクル率を向上する (単位: %) 建設現場	廃棄物 ① 廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する。 ② 無駄な資機材を購入しない。 ③ 使用済みコピー用紙を再利用する。	工事部
			事務部
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 (単位: m)	① 水洗トイレの水使用量を減らす。 ② 水を流しながらの洗い物はしない。	事務部
	沈砂池等の設置と適正管理 建設現場	① 沈砂池等の設置 ② 濁水発生の点検	工事部
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮型機械の使用 建設現場	① 低排出ガス対策型機械の使用 ② 低騒音対策型重機の使用	工事部
環境活動の社会貢献を推進します。	淡海エコフオスター活動に参加する。	① エコフオスター活動に参加する。	事務部



- ① 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
- ② 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容（株式会社定豊）

評価：○達成 △基準年度105%以内達成 ×未達成

環境経営方針	取組項目	年度 (基準年)	取組年 2023年度(7月～6月)		評価	取組の評価	担当責任者
			(目標)	(実績)			
事務所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO ₂ の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (単位：kWh)	目標・基準年度比達成率	98%	96.7%	○	夏の暑さ、冬の寒さが厳しくなっているので使用量が増えてしまっている。出来る限りの節電に努めていきたい。	事務部
		使用量	4,640	4,578			
		(kg-CO ₂)	1,629	1,607			
		売上高原単位	8.0	7.5			
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年度比達成率	98%	164.5%	×	エコ運転、アイドリングストップなどに努めているが、今期は解体工事の受注が多く、ガソリン、軽油、灯油とも使用が増えた。出来るだけ、エコドライブ、重機の効率的な稼働、ストーブの温度管理で、使用量を減らすよう心掛けていきたい。	工事部
		使用量	1,224	2,055			
		(kg-CO ₂)	2,839	4,767			
		売上高原単位	14.0	22.2			
	軽油使用量の削減 (単位：L) 建設現場	目標・基準年度比達成率	98%	131.1%	×		
		使用量	21,645	28,954			
		(kg-CO ₂)	55,844	74,702			
		売上高原単位	275.1	347.5			
	灯油使用量の削減 (単位：L) 建設現場	目標・基準年度比達成率	98%	196.2%	×		
		使用量	1,248	2,497			
		売上高原単位	15.3	28.9			
		二酸化炭素排出量の削減	目標・基準年度比達成率	98%			
	(kg-CO ₂)		63,418	87,293			
	売上高原単位		312.4	406.0			
	二酸化炭素排出量/百万円原単位		目標・基準年度比達成率	97%	127.4%		
		売上高原単位	309.2	406.0			
事務所及び建設現場の廃棄物に関して、分別を積極的に実施することにより最終処分量を削減するとともに、建設リサイクルを推進します。	建設廃棄物のリサイクル率を向上する (単位：%) 建設現場	目標・取組年度比達成率	-	117%	○	廃棄物のリサイクルに努めることが出来ている。今後も徹底していきたい。	工事部
		目標 (単位：%)	85%	99.6%			
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 (単位：m ³)	目標・基準年度比達成率	98%	81.1%	○	日常的に節水に務めた	事務部
		m ³	181	150.0			
	沈砂池等の設置と適正管理 建設現場	目標・取組年度比達成率	-	100%	○	濁水の恐れがある全ての工事で設置ができており、濁水監視が出来た。	工事部
		%	100%	100%			
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮型機械の使用 建設現場	目標・取組年度比達成率	-	100%	○	すべての工事現場で環境配慮型建設機械が投入できている。	工事部
		%	100%	100%			
環境活動の社会貢献を推進します。	淡海エコフオスター活動に参加する。	目標・取組年度比達成率	-	200%	○	今年度も、積極的なエコフオスター活動に取り組むことができた。	事務部
		回	6	12			

次年度の主な取組内容

☆エコへの意識を全員が共有して取組を進める。
何よりも環境意識を大切にすることを強化して行きたい。
☆建設現場の環境経営に関するCPDSを関係する全社員が受講し、全体レベルを上げて行きたい。

6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反、訴訟等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況		
法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	遵守
建設リサイクル法	建設副産物の管理、排出	遵守
建設副産物適正処理推進要綱	再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書の提出	遵守
建設機械に関する技術指針、排出ガス対策型建設機械指定制度	国等の公共事業への排ガス対策型建設機械の使用義務	遵守
大気汚染防止法	建築物等の解体・補修時には石綿含有建材の事前調査	遵守
水質汚濁防止法	事故時の措置	遵守
騒音規制法	対象特定施設の届出、対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定施設の届出、対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
消防法	対象危険物保管の届出規制値内維持	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の点検及び記録及び特定解体工事発注者への説明、記録保存	遵守
家電リサイクル法	家電リサイクル券にて処分	遵守
自動車リサイクル法	廃棄時は自動車リサイクル券にて処分	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、排出	遵守
注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。		

7 代表者による全体の評価と見直し結果・指示 2024年8月10日

【目標の達成状況】

【経営計画実施状況】

現場が遠くなったり、解体現場が多くあり、また、稼働時間が多くなりガソリン、軽油の使用量が増えた。少しでも使用量を減らせるよう、相乗り、エコ運転などできることをして、使用量を減らすよう社員全員で取り組んだ。次年度も二酸化炭素排出量削減や水使用量の削減及び建設廃棄物のリサイクル率向上に取り組む。尚環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画、実施体制に変更はない。

【環境経営システムの運用状況等】

評価結果及び指示内容：
エコアクション21環境経営システムを現場の働き方につなげていく。

【環境関連法規等の遵守状況】

評価結果及び指示内容：
改正廃棄物処理法の周知に努めた。

【利害関係者の苦情・要望事項】

評価結果及び指示内容：
周辺住民の苦情や要望があれば、丁寧に対応する。

【環境経営方針、環境経営目標・計画、実施体制】

環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画、実施体制に変更はない。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり